

KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度テーマ

国際ロータリー 「変化をもたらす」

R.I.会長 イアンH.S.ライズリー

地区方針 「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 永田壮一

熊本グリーンRC 「ロータリーを楽しみ、会員相互の研鑽・親睦を深めよう」

熊本グリーンRC会長 河野景治

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30

■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河野景治 ■幹事：中島三千代 ■会報担当：長野義文

■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2017年7月10日】

第1265回

2017-2018年度 第2回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

「奉仕の理想」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (河野 景治 会長)

なし

友情の握手

会長スピーチ (河野 景治 会長)

先週は福岡・大分のたいへんな豪雨災害が発生いたしました。前回例会の翌日4日は台風が熊本直撃、思いのほかの強風で、やはり自然災害は油断してはいけなと考えていた矢先での今回の災害です。災害のひどかった地区は、私共が第2720地区・大分に関連会合があります時に高速で(朝倉・日田を通過して)行き来している区域で、2年前にも奉仕プロジェクト地区セミナーが日田の山奥の交流館で開催されて伺っております。空気がおいしく山々に囲まれた長閑な区域ですが、今回はその光景が一変、その交流館も避難所と相成っております。今回の区域被災者・関係者の皆様、そして区域のロータリー関係者の方々へお見舞い申し上げますとともに、これからの復旧・復興を祈念いたします。

また、先週の土曜日には本田青少年奉仕委員長には地区セミナーに参加いただき、ありがと

うございました。そして本日のその内容報告もありがとうございます。

幹事報告 (中島三千代 幹事)

■ 報告事項 (その他のロータリー関係)
①「ロータリー米山記念奨学会は財団設立50周年記念」世界米山学友による「感謝 in 熊本」

日時：平成29年8月26日(土)

16:00受付/17:00～21:00(式典&懇親会)

場所：ANAクラウンホテル熊本ニュースカイ 2F「ストリングス」

登録料：10,000円

※創立50周年を記念して「世界米山学友会」を発足するそうです。

②「管理運営・公共イメージ・会員増強合同セミナー」開催のご案内

日時：平成29年9月2日(土)

13:00～16:00(受付開始12:30～)

場所：ホルトホール大分

大分市金池南1-5-1

TEL 097-576-7555

出席要請者：ガバナー補佐、会長、幹事、管理運営委員会関係者、公共イメージ委員会関係者、会員増強委員会関係者 各位

卓話予定

- 7/24 「第3回クラブ協議会」★大友利行ガバナー補佐訪問
- 7/31 クラブ・フォーラム「クラブ定款及び細則の改定について」
- 8/7 小野友道氏(元 熊本保健科学大学 学長：熊本RC)
- 8/14 会員増強クラブフォーラム
- 8/28 「スーパースプリント・アクアスロン大会卓話」

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

◆クラブ管理運営委員長 山下 佳介



今年1年間クラブの効果的な運営の為に一生懸命頑張りたいと思います。

[具体的な行動計画]

・プログラムは順調に予定が埋まっています、今年度の新たな取り組みとしてはアクト会員の卓話を3人予定していますので楽しみにして下さい。

・親睦は例年通りの活動をより楽しく出来たらと思います。

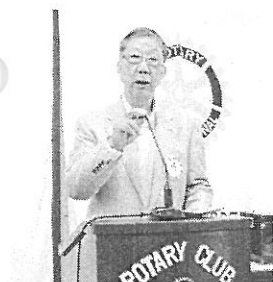
・会報は会員投稿コーナー(グリーン瓦版)を具体化していきたいと思います。

・出席は昨年度6割くらいで地区の第3グループで最下位でしたので出席率向上に努めていきたいと思っています。現在一人で約5%の出席率の増減がある事を意識して頂きたいと思っています、また今年からは当地区にもEクラブが発足し、インターネットでのメーキングが出来るようになりましたのでそちらも活用されてはと思います。

- ・スマイルはベテランで仙波会員のユニークな発表を期待していますので宜しくお願いします。
- ・受付は我がクラブは少数ですので今年度は誕生日の方にも立って頂き皆さんに誕生日を祝って頂きたいと思っています。
- ・農業委員会は親睦とは切り離して、小委員会として独立させたいと思います。

◆クラブ広報委員長 上田 観一

委員長 上田観一、副委員長 江上泰弘、委員 大友利行・中島光司



委員会の役割はロータリーに関する情報を一般の人々に伝えロータリーのプログラムに対する理解・評価・支援を推進する事であり、私共のクラブ内で公共イメージ向上につながる奉仕プロジェクトを探し、マスメディアを通して広報したプロジェクトを「ガバナ通信」や「ロータリーの友」で発表していきたいと思っています。又、毎月の「ロータリーの友」の紹介をさせていただきます。

◆会員増強委員長 田中 純司



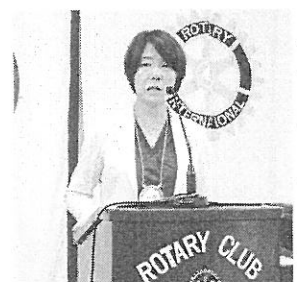
今年度は、河野会長・中島幹事の下で会員増強委員長を務めさせていただくことになりました。河野会長年度で最も重要な委員会のひとつと位置付けられていると思っています。責任感を感じ、どこまでできるか不安ですが、皆様の協力をいただきながら頑張っていきたいと思っています。

委員の皆様の名前を取上げて申し上げさせていただきます。大友副委員長、十時委員、上田委員、河島委員、松村委員、山下委員、本田委員、荒木委員、福島委員、以上ですが、こんなに多数の委員会構成は異例なことです。河野会長の意をおくみいただき、委員会の活動に携わっていただきますようお願いいたします。

先般、河野会長からのDMは読まれたことと思います。”クラブ会員の入会促進を～”の部分をもう一度ご確認ください。また、先月、6月に紹介した”ロータリーの友”の25ページで”10年後のロータリーは”という記事があります。ここも御一読いただければと思います。

増員目標は4人としています。数字に向かっての活動がいちばんわかりやすいと思いますが、委員皆様には1名以上の紹介をお願いします。河野会長の意向で、クラブフォーラムよりも家庭集会を多く開催の予定になっています。万障繰り合わせをお願いしまして、就任挨拶と致します。1年間よろしく申し上げます。

◆奉仕プロジェクト委員長 福島 和見



ロータリークラブに入り3年目を迎える年に、奉仕プロジェクト委員長という大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。私自身今まではロータリアンとして、どちらかと言えば先輩についていけば良いと思いながら参加していましたが、今年度は主語を自分において積極的にこの大役を頑張っていきたいと思っています。

職場訪問、いいこと応援プロジェクトなど会員の皆様に実際体を動かし、心を動かして活動頂き 成果を残していきたいと思っておりますので、まだまだ未熟で心許ないかとは存じますが、時には叱り、時には導き、時には背中を押して頂ますよう、1年間ご協力を宜しくお願いいたします。

◆青少年奉仕委員長 本田 悟士

本年度、青少年奉仕委員会の委員長を務めさせていただくことになりました。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

当委員会の活動は、ローターアクトへの積極関与・支援を中心に据えたものとなっていますが、青少年の活動・活躍を支援する、青少年の成長と発展、人格と能力の陶冶を支援するというような、ある意味うえからの関



与にとどまるのではなく、むしろ、これらへの積極的な関与、連携、協力を通して、私たちロータリアン各自のさらに一段の成長と発展の機会、力としていきたいと考えております。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

このような思いを強くした出来事として、直近のセミナーでの出会いを挙げる事ができますので、あわせて、7月8日土曜日13:00より@アスパル富合にて開かれた2017.18年度国際ロータリー第2720地区 公共イメージ・青少年奉仕部門合同セミナーについても簡単に報告いたします。

別府北RACの渡辺彩加さんの「全ての青少年プログラムに参加して」との演題での発表が印象的でした。

22歳の大学4年、愛知出身。国際関係論を専攻されている方で、青少年交換からインターアクト、RYLA、ローターアクトという形でロータリーに関わってきたそうです。2010-11 オーストラリアへ青少年交換留学（ロータリアンがホストファミリー、1年間生活）で行った際、すでに親善大使として日本のことを伝え、オーストラリアのことを吸収して持ち帰ることが役割と自覚されていたそうで、小中高4校・老人ホーム訪問を通して、日本舞踊や折り紙、茶道などを伝えたり、絵手紙交換プロジェクトを実施したりしたとのことでした。

ストレスから帯状疱疹になったりもした（当時、捕鯨裁判で争っていた頃で日本人であるというだけでいじめられた）が、これを通して、日本人であることの自覚と、相手国との関係を良く知らなければならないことの反省を得たとも話されていました。これは、国際留学に留まらない教訓と我が身を振り返るところでもありました。

その後、2011-（愛知青少年交換留学学友会ROTEX）日本に来ている留学生が直面する問題を解決する働きがしたいとの思いで活動していたそうです。2011-13は、名古屋インターアクト会長を務め、山を持っているロータリアンの協力のもと遊歩道の整備活動をしたり、（愛知ワースト1の）交通事故防止の啓蒙活動をしたり、カラフルクリスマス（青少年交換留学生と愛知県内のすべてのインターアクト参加で、国際交流→現在も継続実施されている）を企画して始めてみたり、高校生だからこそできることを考えて、諦めたり自分で制限をつけないことを学んだと話されていました。「なんでもできるよ。なにがしたいの？」がスタートで、そこから、やりたいことを実現するために必要な人、物をたどり、集め、協力を得ていったそうです。その後、2014年3月2720地区RYLAセミナー受講（当時まだ高校生）、2014-RYLA学友会、RAC所属2015年3月国際RYLA（スリランカ）参加と続くわけですが、外国では、二泊三日 仕事・学校を休んで 金・土・日と参加するそうです。休んでもRYLAセミナーに参加する意味を認めていて、熱意も高く、リーダーも官僚など社会的地位の高い人が務めていたといいます。その後、2015、2016 2720地区のRYLAセミナーへヤングカウンセラーとして、ファシリテーターとして参加したり、2016年6月国際RYLA（YLS young leaders summit）一週間@韓国に参加し、こんなに貪欲に学ぶ人がいるのか、熱意の強さ、他の国の活動レベルの高さ（本気でこの地域、この国をなんとかしようと考えている、行動している）に衝撃を受け、また刺激を受け続けているといいます。

現在は、2014-別府北ローターアクトクラブに在籍しており、昨年は、熊本地震被災者支援として、熊本子供心のケアプロジェクト（キャンプ）を西原村小学生を対象に、APU・温泉に招待する形で実施したそうです。7つの国の国際学生17名も参加、総勢100名を超えたプロジェクトで、資金繰りから計画、実現までゼロベースで行った初めてのプロジェクトとして、これまでの人生で学んだことを反映させた集大成だと自負されていました。

青少年プログラムを通じて、積極性、挑戦意欲を学び、実践する経験を得た。捕鯨裁判で負けた？それでも私は日本人です。日本を代表する、世界で活躍できる人になりたい。と、堂々と語る姿はとても眩しかったです。

よい刺激を受けて、グリーンクラブのロータリアンが、各自これまでの業績、評判、栄光のみに拠ってたつのではなく、さらに、新しいことに挑戦したり、積極的に主導し、身の回りや社会をよい方向へ変えていく、今なお成長しつづける魅力的な大人でありたい。「青少年」に、ロータリアンの背中はまだまだ遠い、高い壁だと思ってもらえるようにありたいとの思いを強くしました。

◆ロータリー財団委員長 栗山 義則



今年度も委員長になりましたが、活動が思う様に出来ない様なので、委員の方々に迷惑をかけますがよろしくお願いいたします。

